

一切経山、東吾妻山

一切経山

一切経山（1,949 m）の東側にある大穴火口からは継続的に蒸気や火山ガスが流出しています。一切経山は約 30 万年前に形成され、今でも火山活動は活発ですが、一般的に登山は安全にできます。常時監視されており、活発さが増した際にはトレッキングコースが閉鎖されます。

山頂へのルートは浄土平ビジターセンターで開始し、浄土平の湿原を通るコースです。所要時間は片道約 90 分です。このルートは、酸ヶ平湿原のウェイポイントから険しくなります。トレッキングコースの大部分が噴火堆積物に覆われており、足場を探すのが困難なこともあります。山頂からは、見る者を魅了するコバルトブルー色で人気の火口湖、五色沼を一望することができます。五色沼の先にあるのは西吾妻連峰です。一切経山山頂経由のビジターセンターから五色沼までの往復は、所要時間約 4 時間です。鎌沼と姥ヶ原経由で戻った場合、さらに 1 時間追加となります。

この辺りには火山ガスが漂っているものの、一部の草木は個の環境でも育つことができます。コメススキ、イタドリ、クロマメノキ、ガンコウランなどです。

一切経山は、東北地方でもっとも火山活動が活発な山で、ささいな活動も見逃さないため監視設備が設置されています。トレッキングの際は、安全を考慮することが大切です。火口から吹き出る火山ガスを吸い込まないこと、適切なハイキング用具を持っていくこと、時間に余裕をもって出発すること、天候予報を確認することなどに注意しましょう。

東吾妻山

一切経山（1,975 m）は、浄土平の南西に位置しています。山頂へと続くトレッキングコースは浄土平ビジターセンターで始まり、鎌沼と姥ヶ原の湿原を通ります。道中には、春から夏と秋にかけて亜高山性の植物や花々が咲いています。

姥ヶ原から山頂へと続くコースは、その大部分がオオシラビソ（*Abies mariesii*）の森に覆われています。山頂からは、吾妻連峰と裏磐梯の景色を一望することができ、磐梯山と猪苗代湖もここから見ることができます天候によっては、遠くに飯豊山と月山が見えます。

コースを戻ってビジターセンターまで戻ることも、景場平へ向かう南方のルートを通して下山することもできます。このコースは陰しく、ぬかるんでいることが多いため、経験者にのみお薦めのルートです。姥ヶ原経由の往復は約 3 時間で、景場平経由なら約 4～5 時間です。